

平成 27 年度
(2015 年度)

標準化活動報告書

平成 28 年 9 月

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
(JBMIA)
標準化センター

はじめに

標準化センターで取りまとめた、一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（以下、JB Mia）の標準化活動に関する「平成 27 年度（2015 年度）標準化活動報告書」を発行いたします。

平成 27 年度は、従来の標準化センターにおける各プロジェクトの活動体制を維持しながら、標準化会議を中心に、具体的な活動を進めているアクセシビリティ・UI デザイン・カラーマネージメントの各標準化プロジェクトの活動推進とステアリング、更には JBMS（協会標準）の維持管理の効率運営を行うと共に、会員各社の事業活動に対する支援として今後取り組むべき新規標準化テーマについて、具体的なテーマ候補案の検討、テーマ候補創出の仕組みの検討、等を実施してきました。併せて、JB Mia が関連する JIS 原案作成活動を推進してまいりました。

本報告書をご高覧いただき、JB Mia 及び標準化センターでの標準化活動に対して皆様の忌憚のないご意見を伺うことができれば幸いです。

標準化センター

■ 目次 ■

1	標準化活動概況	4
1.1	標準化センター	4
1.2	JIS 原案作成委員会	5
2	標準化センター	6
2.1	標準化センター関係者一覧	6
2.2	標準化センター運営委員会	12
2.3	JBMS 推進専門委員会	12
2.4	ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト(UIDP)	13
2.5	アクセシビリティ・プロジェクト(ACPJ)	14
2.6	カラーマネジメント・プロジェクト(CMP)	15
3	JIS 原案作成委員会	16
4	標準部委員会・部会の活動概況	16
4.1	JTC1/SC17 関連	16
4.2	JTC1/SC35 関連	17
5	他の委員会・部会の標準化活動	17
5.1	国際標準化対応検討会	17
5.2	情報セキュリティ委員会	18
5.3	技術委員会	18
5.4	プリンタ・複合機部会	19
5.5	データプロジェクター部会	24
5.6	カード及びカードシステム部会	24
	附属書 A JBMS/JIS 制定・改正実績表	26
	附属書 B 2015 年度 JBMS 5 年見直し結果	32

1 標準化活動概況

1.1 標準化センター

標準化センターにおける各プロジェクト及び専門委員会での、平成 27 年度の活動結果を次に述べる。

(1) 運営委員会の主な活動

- ・新規標準化テーマの候補を継続検討したが、テーマが定まらず活動の提案には至らなかった。

(2) JBMS 推進専門委員会

- ・平成 27 年度の 5 年定期見直し対象の JBMS 5 件、JBmia-TR 2 件の調査を実施し、結果を Web で公開した。

- ・JBMS および JBmia-TR の制定・改正・廃止の審議に計 12 件を対応した。

- 制定 3 件：JBMS-86、JBMS-86 英語版、JBmia-TR-30

- 改正 6 件：JBMS-83、JBMS-08、JBMS-19、JBMS-33、JBMS-82、JBmia-TR-2

- 廃止 3 件：JBMS-75、JBMS-81、JBMS - 85

- ・現状 Web 公開している協会規格で「廃止」となったものは表示上「データなし」となっている構造を「廃止年」、「廃止理由」、「確認先」がわかる構造に変更し、「JBMS」、「TR」の規格に適用した。

(3) ユーザーインターフェイスデザイン・プロジェクト (UIDP)

- ・JBmia-TR-2 (UI 用語ガイドライン) の改正を行った。

- ・JBMS-83 の制定図記号を国際に提案し、審議された。

- ・JEITA と合同会議を実施し、現在検討中の図記号について情報交換を行った。

(4) アクセシビリティ・プロジェクト (ACPJ)

- ・米国リハビリテーション法 508 条基準改定版である NPRM (Notice of Proposed Rulemaking) が公開され、パブリックコメント (5 月 28 日締め切り) が設定された。各社の意見を取りまとめ、意見投稿を行った。

- ・508 条 NPRM の分析から 6 項目の検討事項を抽出し、ISO/IEC 10779 改定に向けた方針案の検討を継続した。

- ・報知光 JIS 改定案が公開され、新たな実験による基準変更が含まれた。これに対し、数値基準の根拠を問うコメントを提出した。

- ・アクセシビリティ関連の外部委員会活動 (10 件) に担当を登録し、各活動のコメント募集に対し、ACPJ での検討結果を報告した。

(5) カラーマネジメント・プロジェクト (CMP)

- ・NWI-1,2,5(オフィスカラーワークフロー) に関するオランダおよび英国の提案文書を検討した。

- ・ISO/IEC CD 17823(オフィスカラー用語) の IS が発行できた。

- ・当プロジェクトが規格策定を担当するオフィス照明環境の国際標準化 NP 提案を SC28 に提案した。

- ・DIN カラーマネジメント規格関連でドイツが関連する CIE 内部文書の外部団体公開を阻止した。

- ・ISO18937 (屋内耐光性試験) 及び ISO18944 (テストチャート) の規格簡略化活動、ISO18940 (寿命・スペック)、ISO18948 (フォトブック試験法) の作業原案のまとめ

活動に JBMIA の意見を反映すべく積極的に参画した。

・ IEC/TC 100 (オーディオ・ビデオ・マルチメディア) 国内委員会からの課題検討要請に対応し、ISO、IEC、CIE、ICC などの国内外関連団体における活動情報の Watch を行った。

1.2 JIS 原案作成委員会

・ JBMIA が原案作成団体として活動した主な JIS 改正活動(3 規格)

-JIS X 6302-1(識別カード-記録技術-第 1 部 : エンボス)

-JIS X 6302-2(識別カード-記録技術-第 2 部: 磁気ストライプ-低保磁力カード低保持力)

-JIS X 6936(事務機器-オゾン, 揮発性有機化合物及び粉じんの放散速度測定方法)

・ 平成 27 年度の JIS 5 年定期見直しで、17 規格の精査を関係者協力のもとで行い、次年度の改正に 3 規格を挙げた。

・ 平成 28 年度 JIS 作成公募制度に、「区分 B」で 1 規格の応募を行った。

(参考 : 区分 A、B は活動期間を示す。)

以上